

進化するぬくもり。



かんぽ生命

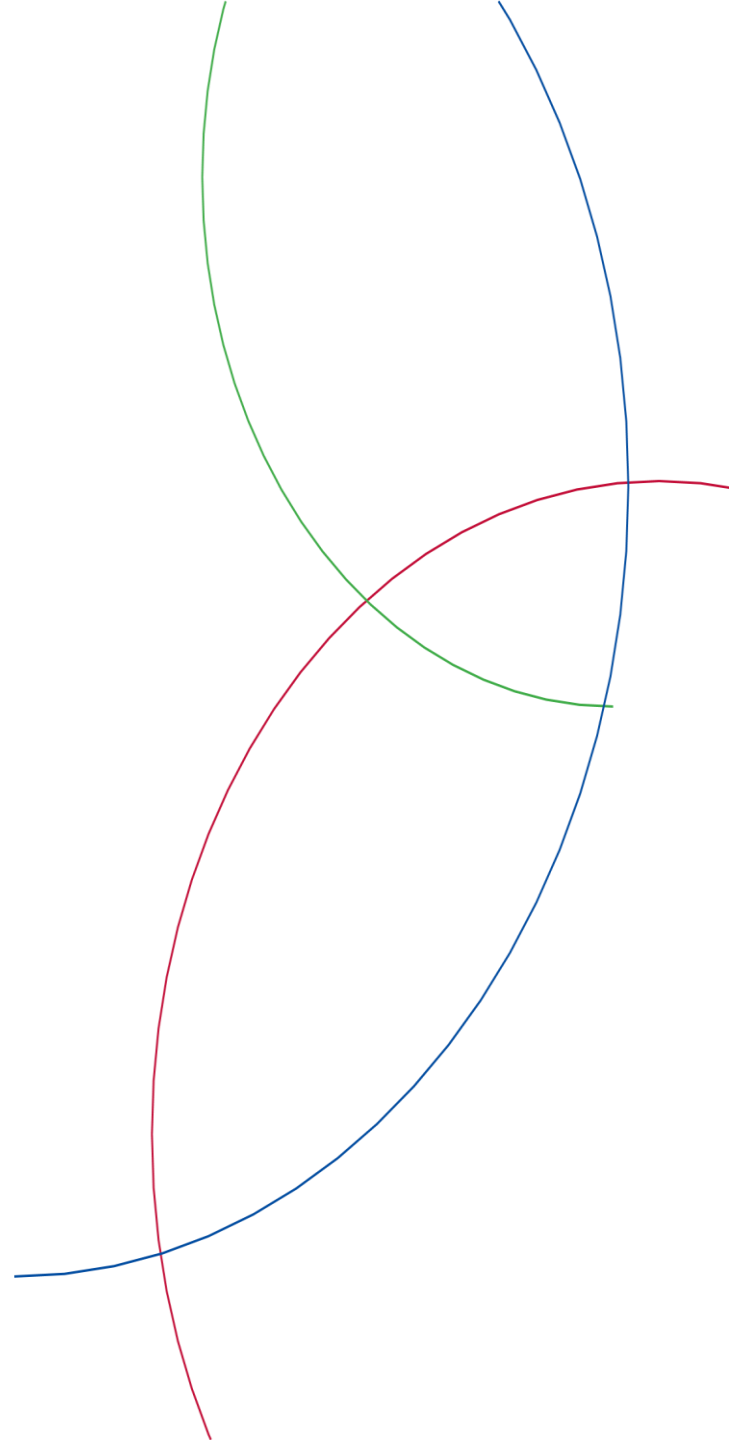
(証券コード：7181)

株式会社かんぽ生命保険

個人投資家向け会社説明会

2025年7月23日

取締役兼代表執行役副社長 大西 徹



取締役兼代表執行役副社長 紹介



取締役兼代表執行役副社長

おおにし とおる
大西 徹

【生年月日：1966年6月17日】

【略歴】

- | | |
|----------|---|
| 1990年 4月 | 郵政省入省 |
| 2008年 4月 | 当社経営企画部調査広報室長 |
| 2009年 4月 | 当社経営企画部担当部長 |
| 2009年 7月 | 当社法務部長 |
| 2010年 1月 | 当社人事部企画役 |
| 2012年 6月 | 当社経営企画部企画役 |
| 2013年 7月 | 当社経営企画部長 |
| 2015年 6月 | 当社執行役経営企画部長兼関連事業室長 |
| 2018年 4月 | 当社執行役近畿エリア本部長 |
| 2019年 7月 | 当社執行役 |
| 2020年 4月 | かんぽシステムソリューションズ株式会社取締役 |
| 2020年 6月 | 当社常務執行役 |
| 2023年 6月 | 当社取締役兼代表執行役副社長（現職）
日本郵政株式会社常務執行役（現職） |

1. かんぽ生命の特徴・強み

2. サステナビリティ経営

3. 2024年度決算の概要

4. かんぽ生命の強みを活かした成長戦略

5. 株主還元の充実

1. かんぽ生命の特徴・強み

2. サステナビリティ経営

3. 2024年度決算の概要

4. かんぽ生命の強みを活かした成長戦略

5. 株主還元の充実

かんぽ生命が目指す姿

かんぽ生命の社会的使命（パーパス）

お客さまから信頼され、選ばれ続けることで、
お客さまの人生を保険の力でお守りする

経営理念

いつでもそばにいる。どこにいても支える。
すべての人生を、守り続けたい。



かんぽ生命のあゆみ



郵政創業150年

• 2022年（令和4年）プライム市場へ移行 2022

• 2021年（令和3年）郵政創業150年 2021



• 2019年（平成31年）株式2次売出し 2019

• 2016年（平成28年）簡易生命保険誕生100周年 2016

• 2015年（平成27年）株式上場

2015



2007

• 2007年（平成19年）郵政民営化

株式会社かんぽ生命保険として、生命保険事業を開始

2003

• 2003年（平成15年）日本郵政公社発足

1949

• 1949年（昭和24年）郵政省発足

1926

• 1926年（大正15年）郵便年金事業創業

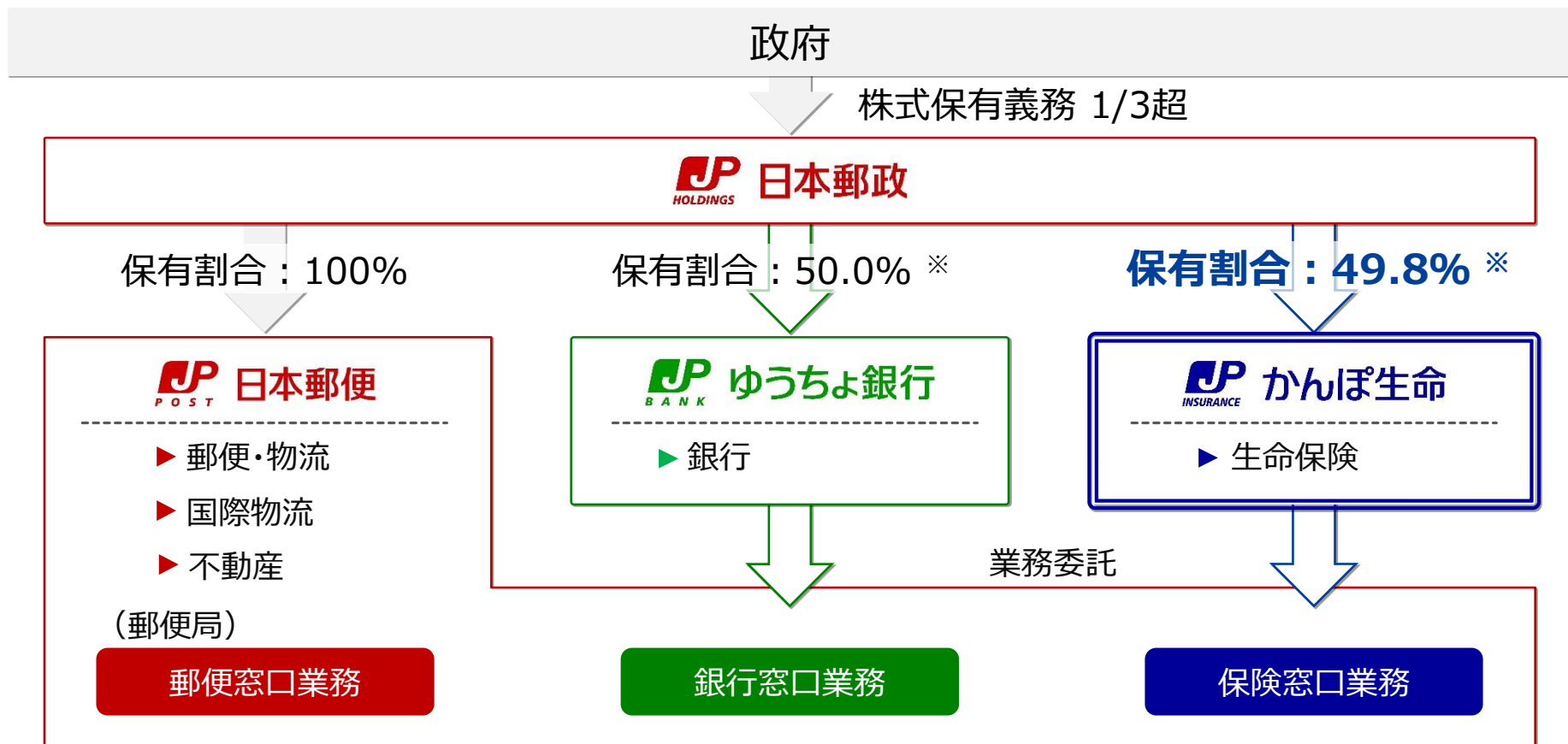
1916

• 1916年（大正5年）簡易生命保険事業創業



日本郵政グループにおける位置付け

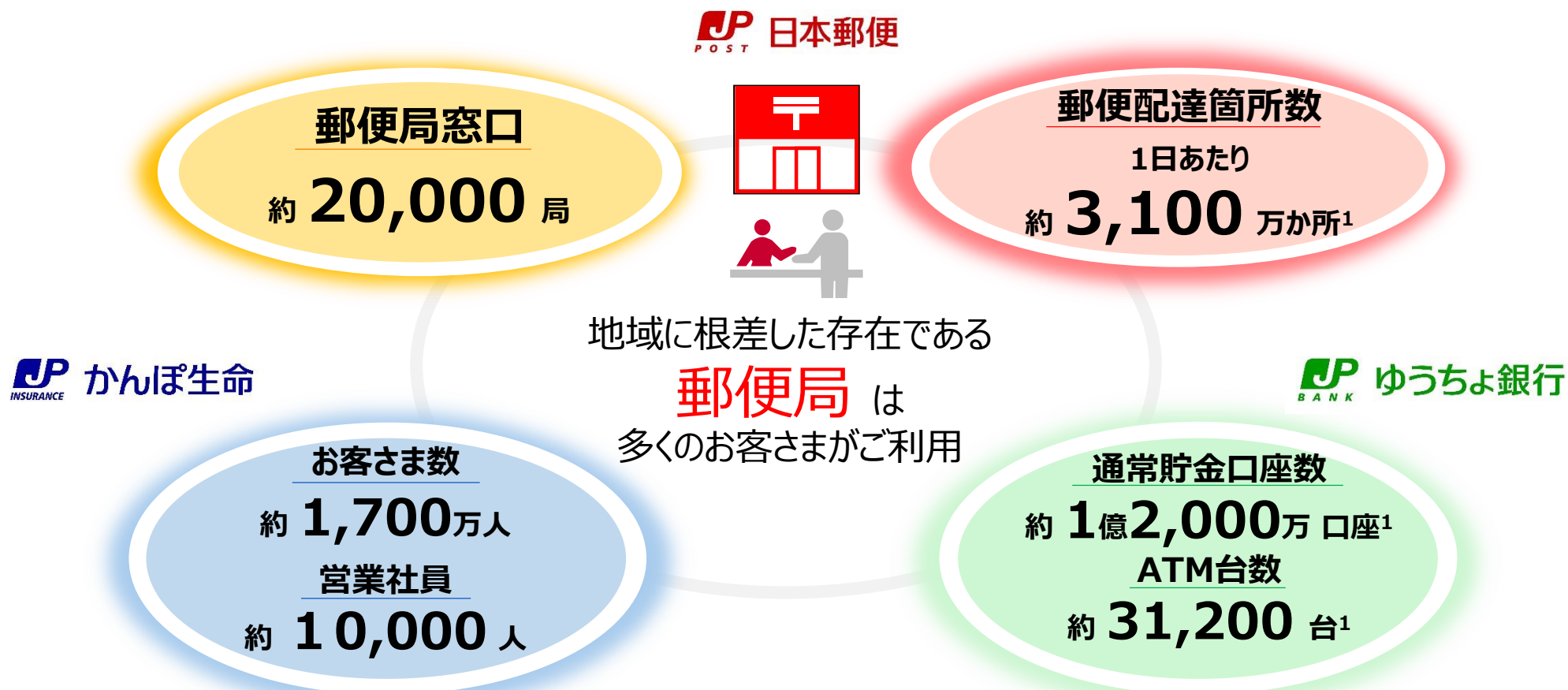
主要 3 事業のひとつとして、 全国の郵便局を通じて生命保険を販売



※ 保有割合は、2025年3月末時点の議決権の保有割合。

日本郵政グループのビジネスモデル

日本郵政グループならではの付加価値を提供



1 出典：日本郵政グループ 統合報告書 (ディスクロージャー誌) 2024

かんぽ生命の商品

シンプルで分かりやすい商品・サービスを提供

簡易な加入手続き



医師による診査が不要
(無診査)



健康状態などの告知で申
込み可能 (告知書扱)



職業による加入制限なし

分かりやすい商品

主力商品は終身保険と養老保険
基本保障 (終身・養老) に特約を付加

生涯保障をお考えの方へ
新ながいきくん
終身保険

一生涯の備え

払込みは一定期間

保有契約全体の
約 **6** 割

保障と満期の楽しみをお考えの方に
新フリープラン
養老保険

資産形成

万が一の備え

保有契約全体の
約 **3** 割



医療特約
もっと
その日からプラス

医療特約で安心をプラス

※ 保有契約に占める割合は、2025年3月末時点

直近の新商品

払込総額を超えて、学資金や死亡保障を提供するプランを用意

学資保険 リニューアル【2023年4月】



払込総額以上の
受取学資金のプランも登場

一時払終身保険 新発売【2024年1月】



ご高齢のお客さまの
資産承継ニーズなどに対応

かんぽ生命の4つの強み

業界他社と比べて、独自かつ最大級の4つの強みを保有

郵便局ブランド

お客さまに安心をお届けする、
信頼・親近感の「郵便局ブランド」

ネットワークと人材

全国津々浦々 2万局の郵便局と
訪問活動を行う1万人のかんぽさん

お客さま基盤

当社1,700万人のお客さまに加え、
日本郵政グループのお客さまとも接点

資産の力

業界最大級の総資産60兆円
(資産運用や成長分野へ投資の源)

かんぽ生命の4つの強み – 郵便局ブランド・ネットワークと人材① –

全国津々浦々にある信頼・親近感の「郵便局ブランド」

郵便局のコーポレートイメージ TOP 3 ¹

1位 “どこにでもある”

地域への深い理解

2位 “地域に
密着している”

郵便局への信頼

3位 “身近・
親しみがある”

ブランド力を活かした
独自のお客さま接点

拠点数 ²



郵便局窓口 約 2万局

お客さまの来局に対応



かんぽさん 1万人

保険の専門家が訪問活動

1 出典：日本郵政グループ 統合報告書（ディスクロージャー誌）2024

2 出典：郵便局は2025年3月末現在、生命保険募集を行う郵便局・簡易郵便局の数、小学校は文部科学省「学校基本調査」2024年5月1日現在、交番等（駐在所を含む）は警察庁「全国警察施設名称位置等」2024年4月1日現在

かんぽ生命の4つの強み — 郵便局ブランド・ネットワークと人材② —

「かんぽさん」は、全国に約1万人
分かりやすい商品と質の高いサービスを提供

かんぽさんって？

お客さま一人ひとりに
より良い保険サービスを提供する

私たちは、かんぽ生命の
コンサルタントです。

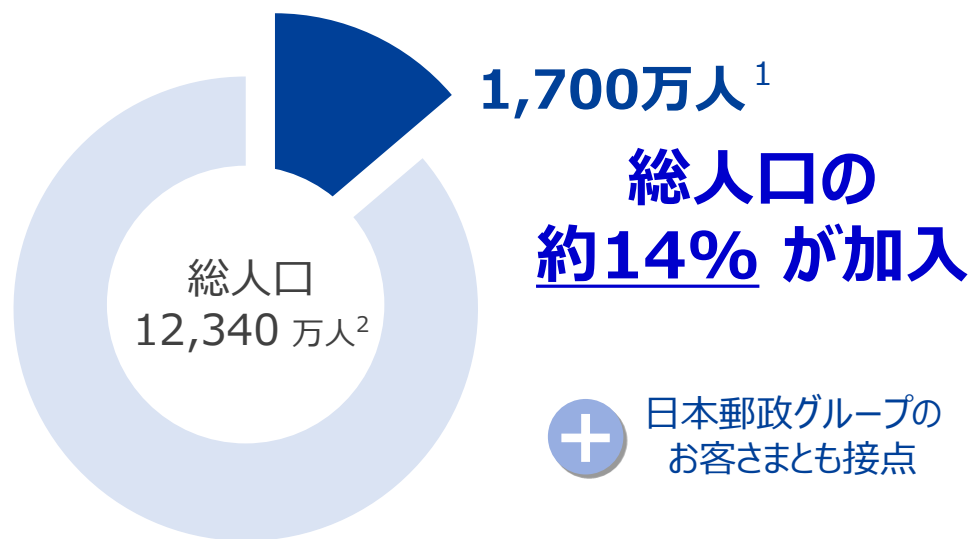
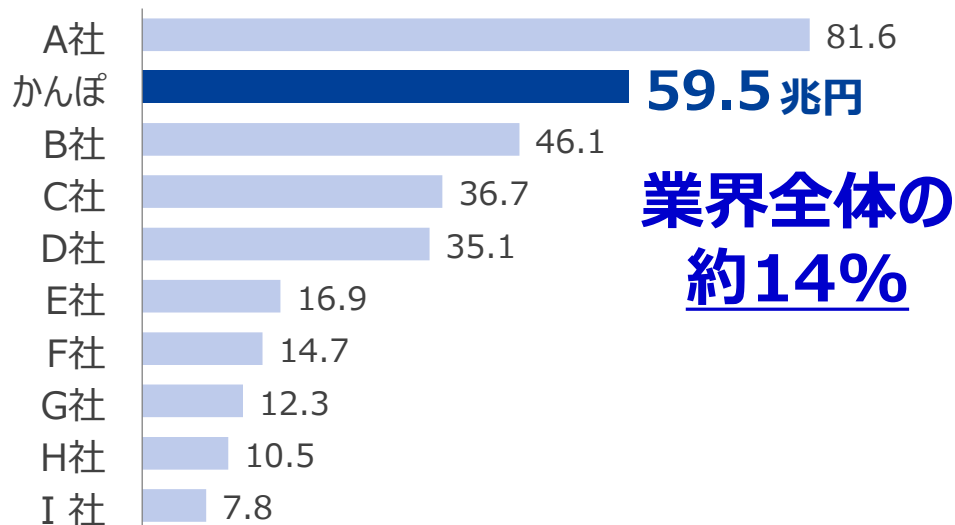
かんぽさん
いそむら はやと
磯村 勇斗

新人かんぽさん
はら なのか
原 菜乃華

かんぽ生命の4つの強み — お客さま基盤・資産の力 —

業界最大級のお客さま数と総資産、保険金等支払額は業界トップ⁵

お客さまの数

総資産^{3,4}さらに、保険金等支払金額⁵は **業界トップ⁵の年間4兆円超**

▶▶▶ 生命保険会社としての使命を果たしていることの表れ

¹ 2025年3月末現在² 出典：総務省統計局「人口推計」2025年5月1日現在（概算値）³ 出典：各社公表資料⁴ 国内生保全41社が対象、かんぽの数値は旧契約を含む、他社は国内単体（外資系生保は日本法人）の数値⁵ 保険金等支払金額は、保険金・年金・給付金の合計

1. かんぽ生命の特徴・強み

2. かんぽ生命のサステナビリティ経営

3. 2024年度決算の概要

4. かんぽ生命の強みを活かした成長戦略

5. 株主還元の充実

サステナビリティ経営の推進

事業活動を通じて、多様な社会的価値を提供

当社を取り巻く主な社会課題

Well-being が高い社会の実現¹

所得 生きるために多様な備え

地域 デジタルを活かした地方創生

健康 健康寿命の延伸

持続可能な経済成長

SDGsの達成（気候変動対応等）

主な事業活動

保険サービス

保険の種類や魅力の充実
郵便局×デジタルで
地域を問わずサービス向上
ラジオ体操を通じた健康増進

資産運用・投資

投資先企業の価値向上
新たな成長機会の創出
サステナブル投資

財務への主な影響

収益性 ↗

企業価値 ↗

持続性 ↗

社会課題の解決への貢献と、企業価値向上が連動

¹ Well-being：一人ひとりが多面的、持続的に実感している幸せ（身体的な健康、精神的な安定、社会的な関係の充実、個人の成長や達成感等、様々な要素で構成される状態）

かんぽ生命とラジオ体操

地域・社会のみなさまの健康づくりを応援

2028年 ラジオ体操100周年

ラジオ体操カードの配布

1952年から毎年「ラジオ体操出席カード」を作成し、全国の子どもたちに配布



1952年の
出席カード



2025年の
出席カード

1000万人ラジオ体操・みんなの体操祭

1962年から毎年実施
NHK総合テレビなどで全国に生放送



2023年は横浜市（写真）、2024年は旭川市で開催
2025年は広島市で開催予定

サステナブル投資

かんぽ生命らしい“あたたかさ”の感じられるサステナブル投資を推進

重点取組テーマ

Well-being向上

地域と社会の発展

環境保護への貢献

重要施策

インパクト“K”プロジェクト

重点取組テーマを踏まえ、SDGsの課題解決に貢献できる案件に投資

インパクト“K”プロジェクト

インパクト投資における主流であるPEファンドのほか、国内上場株式ファンドや産学連携ファンドなど、多様な案件を着実に積み上げ

産学連携

⇒ 詳細は次ページ

インパクト投資等を視野に、社会課題解決やイノベーション創出に繋がる産学連携を強化

インパクト投資とは

経済的リターンの確保のみならず、社会課題の解決等につながる測定可能なインパクトを生み出すことを意図した投資

サステナブル投資と産学連携

教育機関との多方面での連携により、未来社会を“共創”

学校法人慶應義塾

国立大学法人大阪大学

学校法人立命館

国立大学法人東京大学
産学協創推進本部

学校法人早稲田大学

研究成果の
社会実装を目指す

資金供給



多方面での連携

大学等教育機関での
出張講義



小学校高学年向け
金融教育



人材交流
(学生向けインターンシップなど)



サステナビリティ経営と外部評価

当社のサステナビリティ経営は、世界の中でも上位の評価

ESGインデックスへの採用



FTSE4Good

FTSE4Good Index Series
(2022年～)

代表的なESGインデックス の
ひとつ、2022年から採用



FTSE Blossom
Japan Index

FTSE Blossom Japan Index
(2022年～)

GPIF¹ 採用のESGインデックス

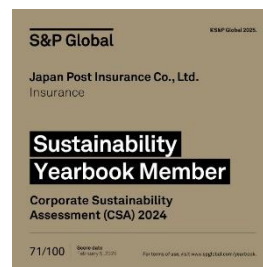
1 年金積立金管理運用独立行政法人

外部評価



ISS ESG 「Prime Status」²
(2023年～)

**世界の保険業界で
上位10% の評価を獲得**



**S&P Global 「Sustainability
Yearbook Member」** (2023年～)

- ・ 世界の保険業界で
上位15%の評価を獲得
- ・ イヤーブックメンバーに選定

² 議決権行使助言会社インスティテュショナル・シェアホルダー・サービスズ (ISS) の責任投資部門ISS ESGによるサステナビリティ格付評価、2025年4月時点
(<https://www.issgovernance.com/esg/ratings/>)

1. **かんぽ生命の特徴・強み**

2. **サステナビリティ経営**

3. **2024年度決算の概要**

4. **かんぽ生命の強みを活かした成長戦略**

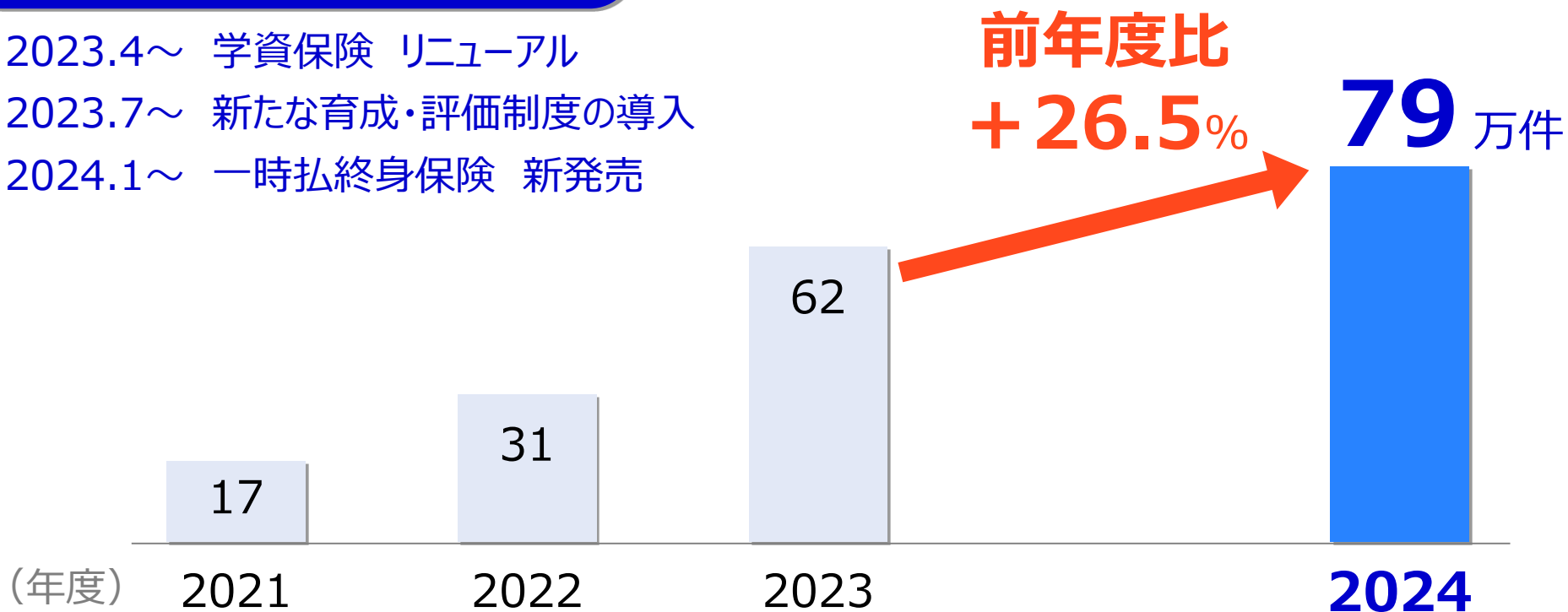
5. **株主還元の充実**

新契約件数（個人保険）の推移

営業活動の活性化により、新契約は大きく増加

新契約の大幅増が継続

- 2023.4～ 学資保険 リニューアル
- 2023.7～ 新たな育成・評価制度の導入
- 2024.1～ 一時払終身保険 新発売



順ざやの推移

収益追求資産への投資により順ざやを拡大

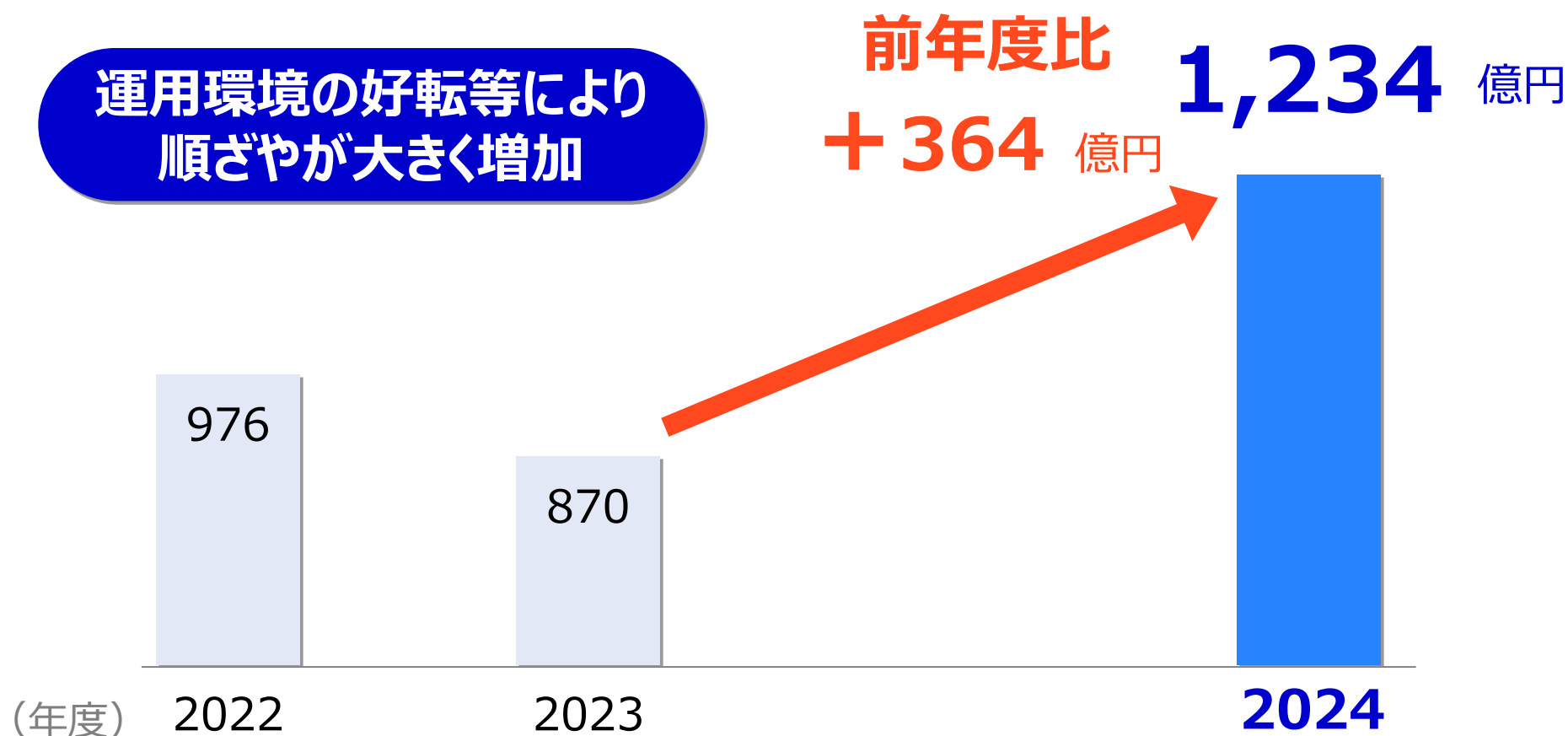
順ざやは大きく増加

- ・国内債券を中心とした安定運用
- ・10兆円を超える収益追求資産への投資



連結当期純利益の推移

連結当期純利益は前年度比で大幅に増加



1. かんぽ生命の特徴・強み

2. サステナビリティ経営

3. 2024年度決算の概要

4. かんぽ生命の強みを活かした成長戦略

5. 株主還元の充実

CM動画 (1分)

1. **かんぽ生命の特徴・強み**

2. **サステナビリティ経営**

3. **2024年度決算の概要**

4. **かんぽ生命の強みを活かした成長戦略**

5. **株主還元の充実**

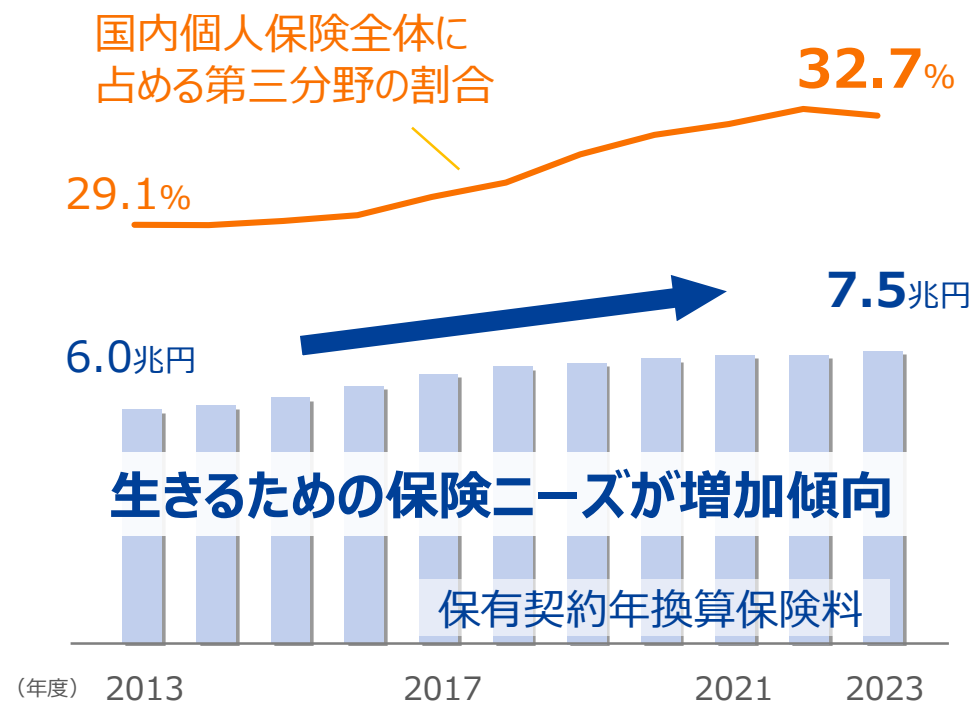
外部環境の変化

「金利のある世界」への変化や、保険ニーズの多様化等の外部環境の変化を捉える

「金利のある世界」への変化



保険ニーズの多様化



1 出典：「生命保険事業概況」（生命保険協会）、国内保人保険合計には簡易生命保険契約を含む

4つの強みを活かした「成長戦略」

当社の4つの強みを活かし、3つの成長戦略を実行

外部環境（チャンス）

金利のある世界

商品改善・資産運用に追い風

保険ニーズの多様化

「生きるための保険」等のニーズ拡大



4つの強み

郵便局ブランド

お客さまに安心をお届けする、
信頼・親近感の「郵便局ブランド」

ネットワークと人材

全国津々浦々 2万局の郵便局と
訪問活動を行う1万人のかんぽさん

お客さま基盤

当社1,700万人のお客さまに加え、
日本郵政グループのお客さまとも接点

資産の力

業界最大級の総資産60兆円
（資産運用や成長分野へ投資の源）

成長戦略

保険サービス

お客さま数の
維持・拡大

資産運用

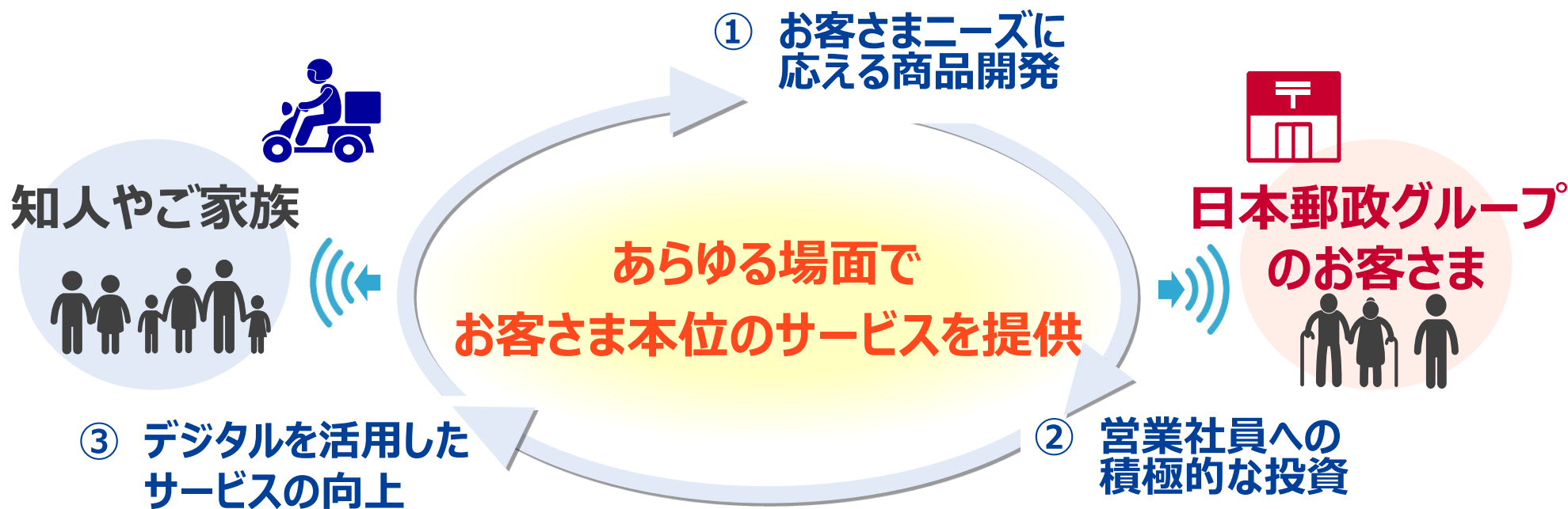
巨大な資産規模を
活かした資産運用

投資

収益源の多様化

お客さま数の維持・拡大

お客さま本位のサービスを徹底し、社会的使命を果たす



➡ “お客さま数の維持・拡大” を目指す

お客さま数の維持・拡大 – ①お客さまニーズに応える商品開発 –

あらゆるお客さまニーズに応える商品の提供

お客さまのニーズ

あらゆる世代✓



保険料負担を抑えつつ
万が一に備えたい

高齢層



- ✓ 生活資金を遺したい
- ✓ 終活に向けて備えたい

中高年層



- ✓ 人生100年時代の
長生きリスクに備えたい

若年齢層



- ✓ 子どもの教育資金を
準備したい

商品改善の取り組み

平準払商品（終身・養老）
の魅力向上へ

一時払終身保険【2024年1月】
→ 保険料引き下げ【2025年7月】

商品ラインアップの拡充へ

学資保険の改定【2023年4月】

お客さま数の維持・拡大 – ②営業社員への積極的な投資 –

「かんぽさん」へ積極投資、社員のモチベーションは向上

営業体制の改革【2022年4月】

日本郵便から営業社員 1 万人を受け入れ

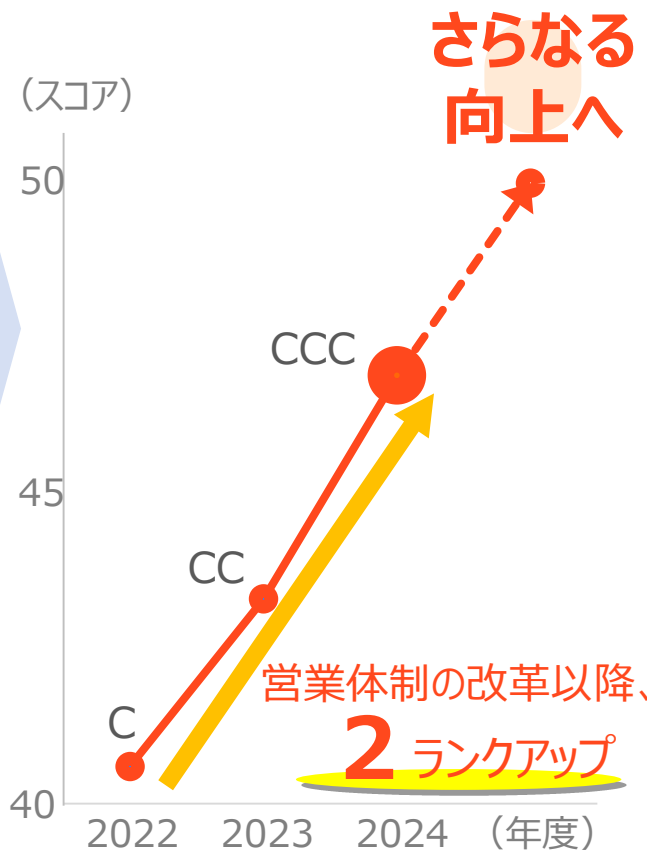
当社が直接マネジメント



営業社員へ積極投資

- ✓ 育成強化、採用数も倍増
- ✓ 風土改革（全支店の社員と経営陣等が直接意見交換）
- ✓ 働きやすい職場環境を整備（営業用のPC端末を更改）

＜社員エンゲージメント¹の推移＞



1：株式会社リンクアンドモチベーションが提供する「モチベーションクラウド」を通じて調査の上、評価。結果に応じた「AAA」～「DD」の11段階のエンゲージメントレーティングでランク付け。

お客さま数の維持・拡大 – ③デジタルを活用したサービスの向上 –

デジタルを活用してサービス改善、お客さま満足度向上へ

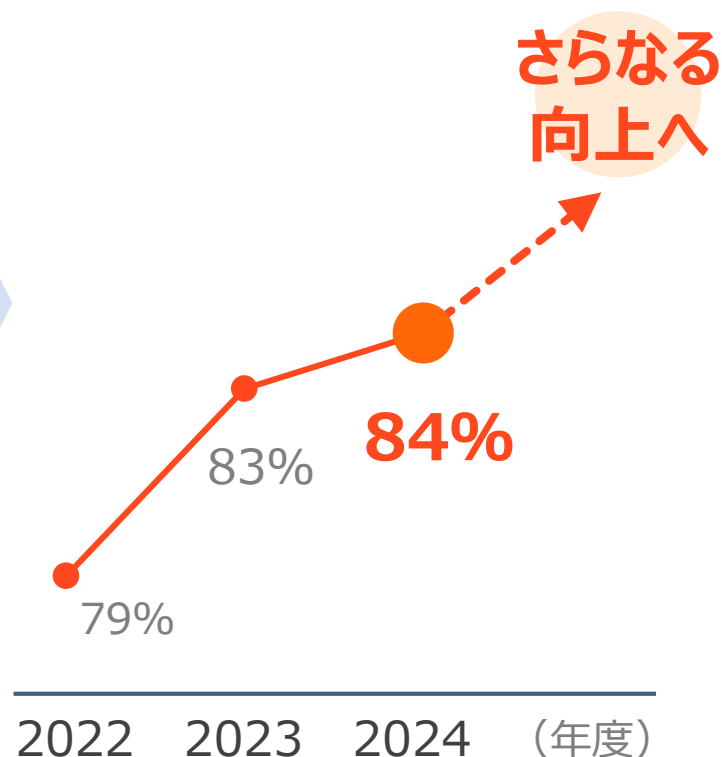
お客さまとの接点の強化

- ✓ **すべてのお客さまと年1回**のコンタクト実現へ
(メール・LINEなどを活用)
- ✓ **AIを活用**し、お客さまの潜在ニーズを把握、
お客さまに合わせたサービス提供の実現へ

手続きの利便性向上

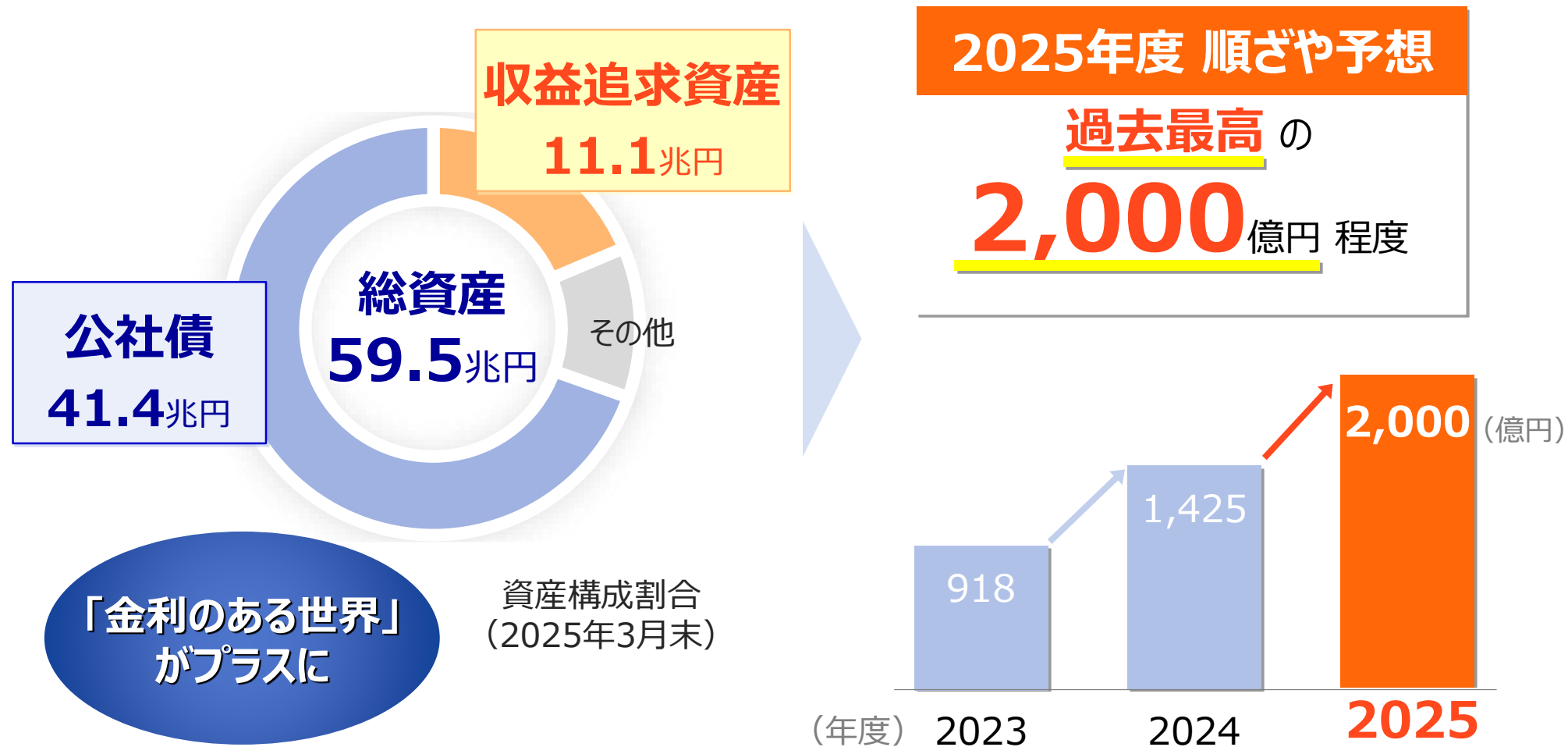
- ✓ かんぽデジタル手続きシステムにより、
入院保険金を **最短で翌日**に お受け取り可能
- ✓ **オンラインを活用**した保険加入プロセスの拡充へ

<お客さま満足度>



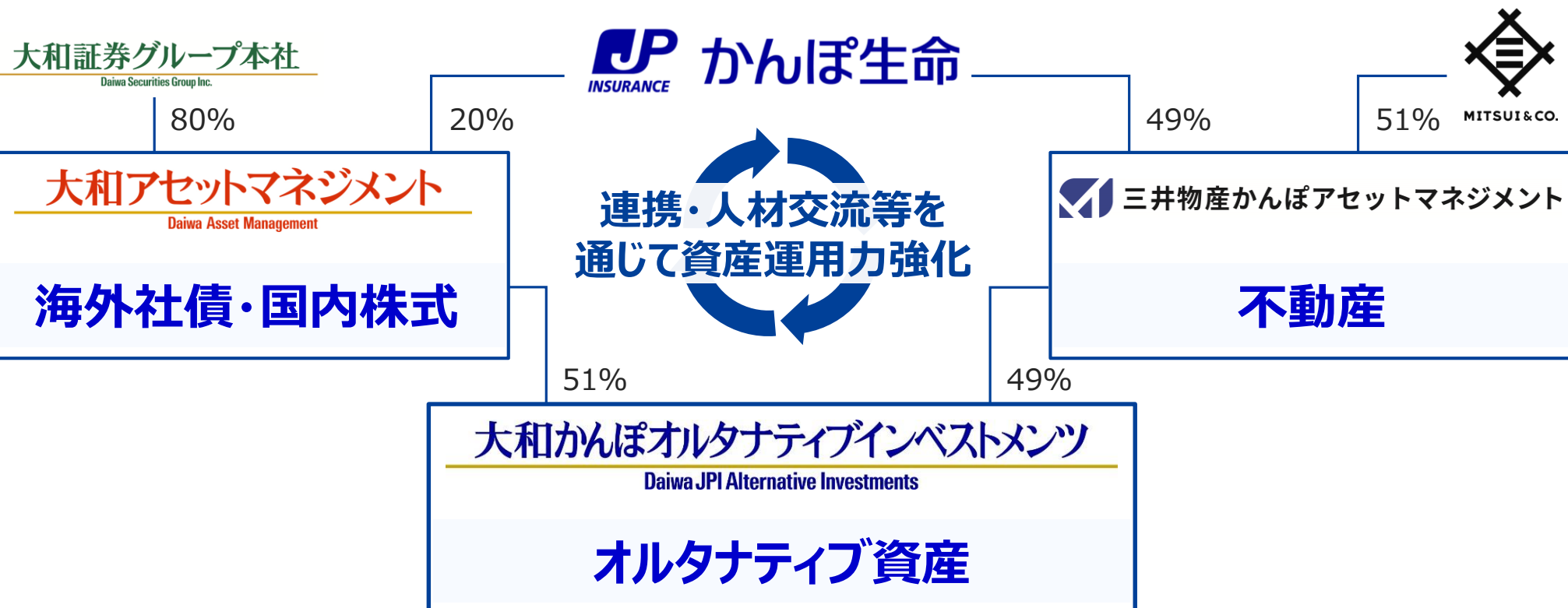
巨大な資産規模を活かした資産運用 – 資産運用の多様化 –

「金利のある世界」を追い風に、資産運用収益の拡大へ



巨大な資産規模を活かした資産運用 — 提携を通じた運用力の強化 —

提携を通じて各分野の資産運用力を強化



収益源の多様化

海外保険市場・アセマネ事業の収益拡大へ

海外保険市場

提携効果



米国保険市場からの収益獲得
米国以外にも収益源を拡大

アセットマネジメント事業

提携効果



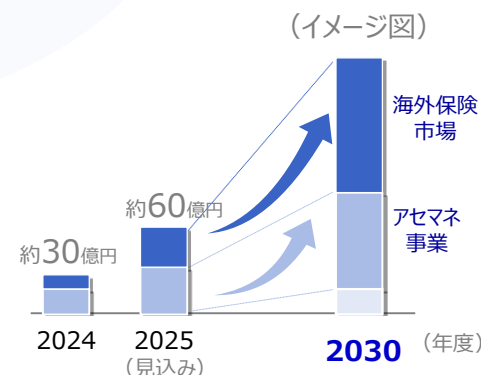
新NISAによる運用残高の拡大
投資顧問ビジネスへの本格参入



新たな成長機会の創出

生命保険事業と親和性がある領域を幅広く検討

→ 2030年度に **数倍の利益獲得** を目指す



1. **かんぽ生命の特徴・強み**

2. **サステナビリティ経営**

3. **2024年度決算の概要**

4. **かんぽ生命の強みを活かした成長戦略**

5. **株主還元の充実**

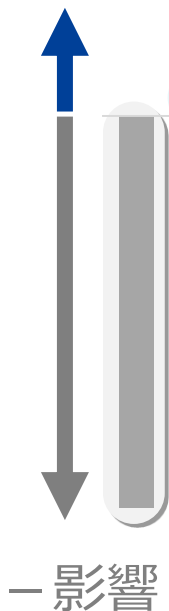
修正利益の導入

新契約増加の影響を一部調整した「修正利益」を導入

新契約による純利益への影響

+ 影響

(イメージ図)



① 新契約は長期にわたって
少しずつ利益を高める

② 一方、会計上は、
契約初年度に利益を
大きく押し下げる影響

New

修正利益

会計上のマイナス影響を調整し、
新契約増加をタイムリーに利益に反映

2024年度実績

1,457 億円

連結当期純利益

1,234 億円

株主還元方針

修正利益に基づき、安定的な株主還元を実施

株主還元方針
(2021年度～2025年度)◆ 原則として 減配を行わず
増配を目指す

◆ 機動的な自己株式取得

総還元性向

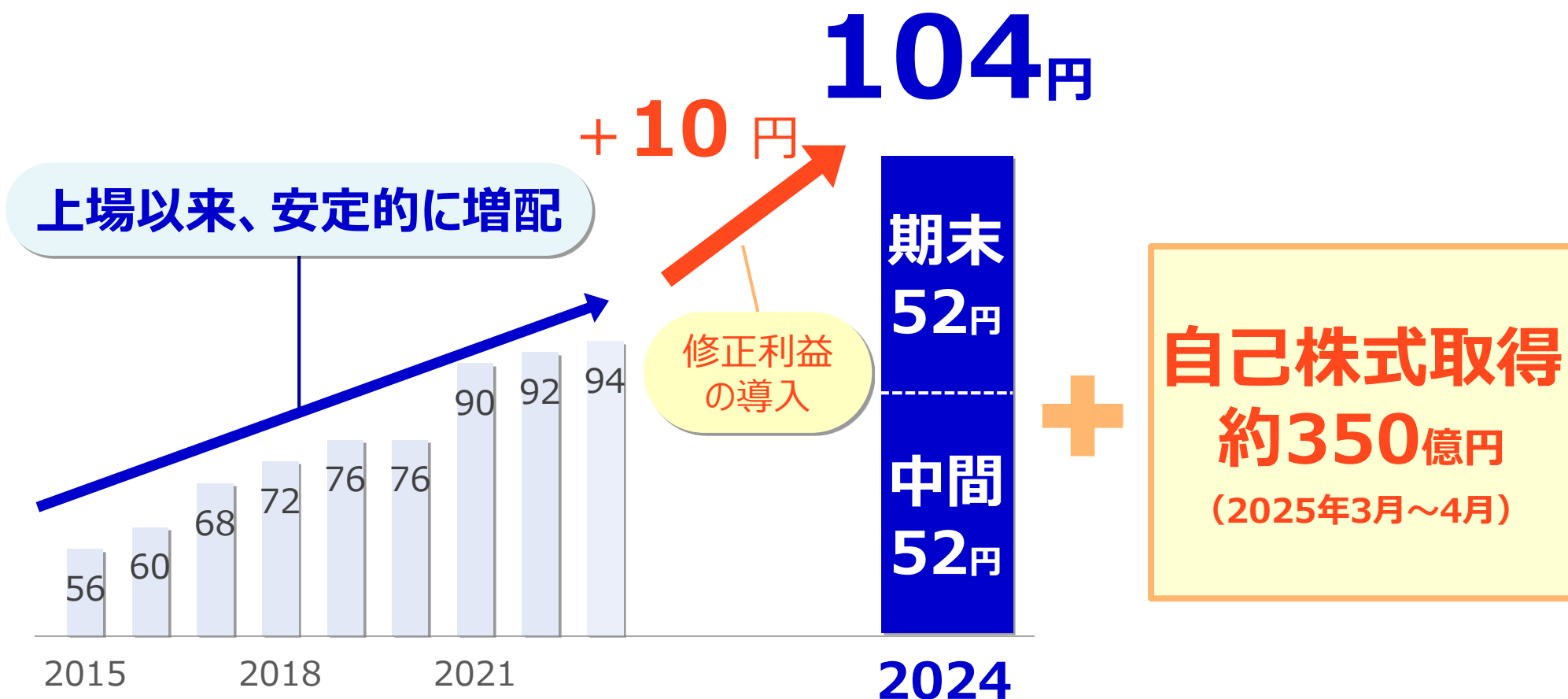
中期経営計画期間中
平均 **40～50%**

$$= \frac{\text{配当金支払総額} + \text{自己株式取得額}}{\text{変更 修正利益}}$$

- ◆ 連結当期純利益から変更
- ◆ 新契約の増加と還元原資の増加を両立

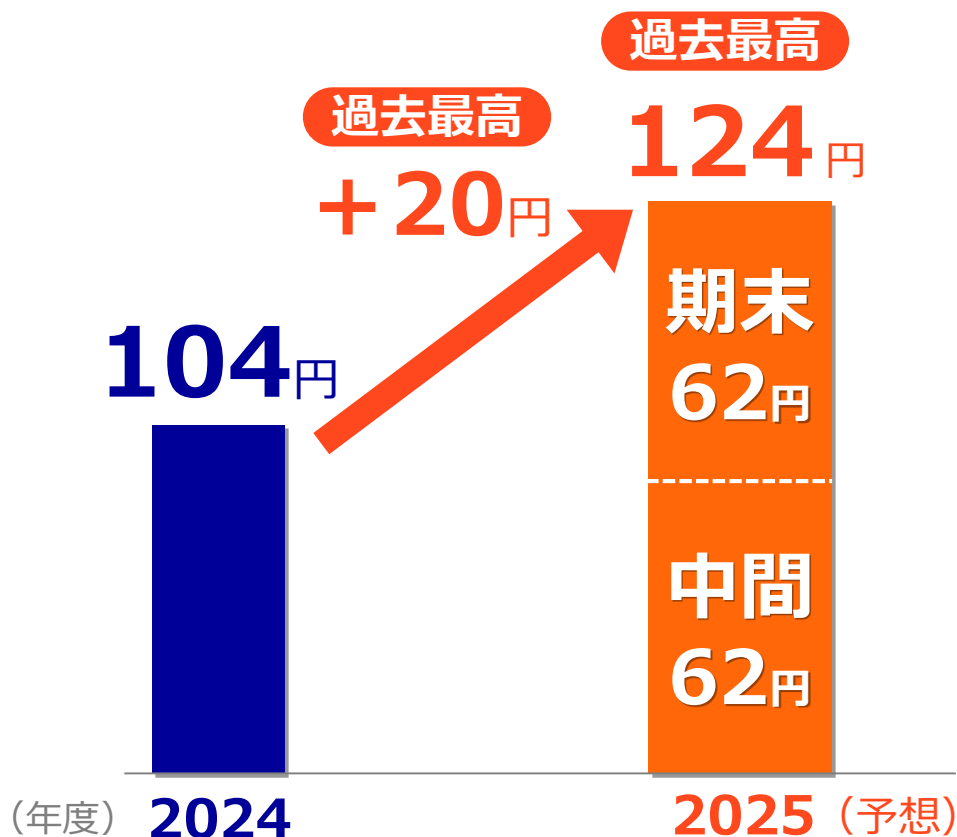
増配・自己株式取得（2024年度）

2024年度は、10円増配と自己株式取得を実施



2025年度の株主還元

配当は過去最高を予想、追加の株主還元も検討



2025年度 業績予想

修正利益 **1,420** 億円 程度

年間の配当総額は

過去最高 **460** 億円 程度を予想

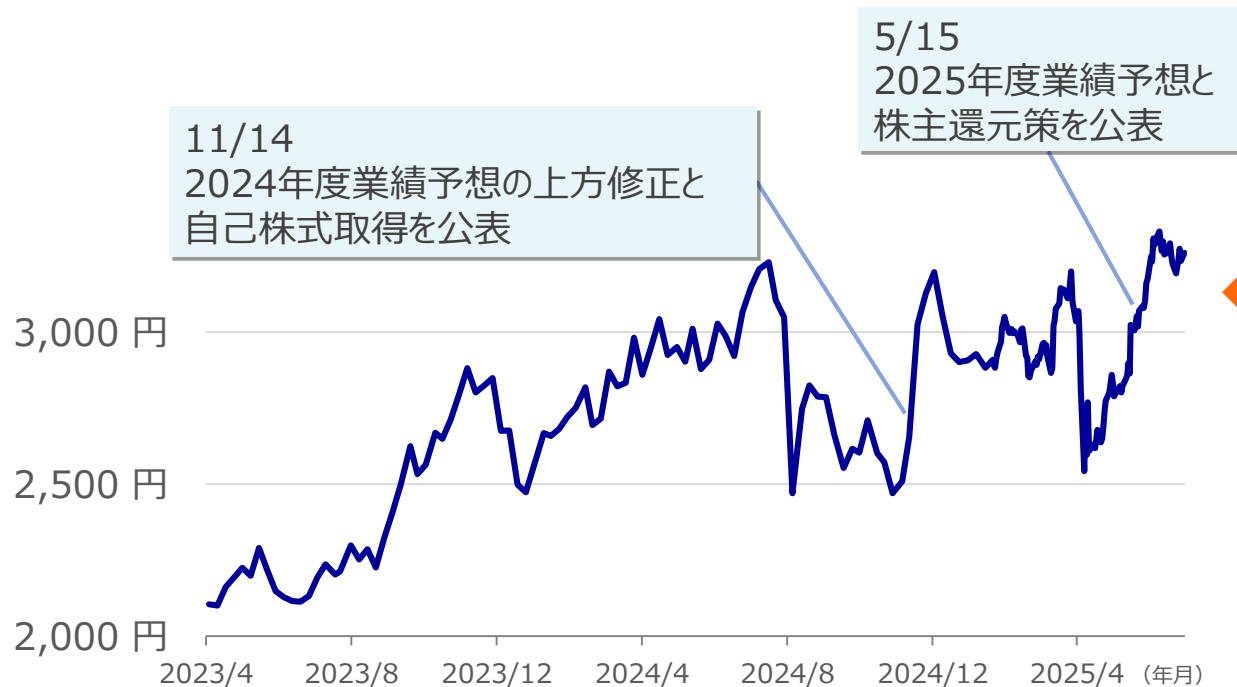
単年度で

総還元性向 55 % 程度を予定

市場評価の向上

当社の強みを活かした成長戦略に取り組み、
時価総額 2 兆円を目指す

当社株価の推移



時価総額2兆円へ

当社の現状	(2025年6月30日時点)
株価	3,261 円
時価総額 ¹	1 兆2,111 億 円
PBR ²	0.37 倍

注1 自己株式を含まない

注2 PBR (株価純資産倍率) = 直近株価 ÷ 1株当たり純資産 (2025年3月末 : 8,727.19円)

メッセージ

企業価値の源泉は「お客さまからの信頼」

**日本一の信頼感・親近感のある
「かんぽブランド」の確立へ**

IRサイトのご案内

The screenshot shows the JP Life IR website interface. At the top, there's a navigation bar with the JP Life logo and links for 'English (Investor Relations Home)'. Below this is a search bar and a 'Text Size' selector. The main content area is divided into several sections:

- IRニュース (IR News):** A list of recent news items with dates and titles, such as '2025年06月26日 法定・適時開示 支配株主等に関する事項について'.
- IRイベント (IR Events):** A list of upcoming events, including '2025年08月08日 2026年3月期 第1四半期決算発表'.
- 株主・投資家のみなさまへ (To Shareholders and Investors):** A section with a '株主選元' (Shareholder Selection) button and a '株主情報' (Shareholder Information) section.
- 最新決算・IR資料 (Latest Financial Results and IR Materials):** A section with a '一覧へ' (View All) button and links to various documents.
- 株価情報 (Stock Price Information):** A section showing the current stock price (3,254.0) and a line chart of the stock price over time.
- アクセスページランキング (Access Page Ranking):** A list of the top 3 most accessed pages, including '株主総会' (Shareholders Meeting) and 'IR資料' (IR Materials).
- IR関連ページ (IR Related Pages):** A list of links to various IR-related pages, including 'よくあるご質問' (Frequently Asked Questions) and 'IRメール配信' (IR Email Distribution).

かんぽ生命IRサイト (株主・投資家のみなさまへ)

経営方針や決算関係資料、株式情報をわかりやすく掲載しております。

本日のプレゼンテーション資料も掲載いたします。ぜひ、ご覧ください。

<https://www.jp-life.japanpost.jp/IR/index.html>

IRメール配信

メールアドレスをご登録いただいた方に、最新の適時開示情報等、当社のIRに関する情報を無料で配信しております。

参考資料

会社紹介

商号	株式会社かんぽ生命保険
事業開始	2007年 10月 1日
本社所在地	東京都千代田区大手町二丁目3番1号
代表者	取締役兼代表執行役社長 谷垣 邦夫
資本金	5,000億円
総資産額（連結）	59兆 5,556億円 （2025年3月末）
従業員数（連結）	18,656名 （2025年3月末） （上記に加え、平均臨時従業員数 2,534名）
主な事業所	エリア本部：13 支店：82 （支店は、他に分室（かんぽサービス部）を623箇所設置）



取締役兼代表執行役社長

たにがき くにお
谷垣 邦夫

主要業績の推移

(億円)

	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
保険料等収入	26,979	24,189	22,009	24,840	31,548
事業費等 ¹	5,035	4,790	5,197	5,216	5,099
経常利益	3,457	3,561	1,175	1,611	1,702
契約者配当準備金繰入額	654	731	620	558	969
当期純利益	1,661	1,580	976	870	1,234
修正利益	-	-	-	976	1,457
純資産	28,414	24,210	23,753	33,957	32,414
総資産	701,729	671,747	626,873	608,558	595,556
自己資本利益率 (ROE)	7.0 %	6.0 %	4.1 %	3.0%	3.7%
修正ROE	-	-	-	6.1%	8.8%
株主配当	427	359	355	360	398
自己株式取得額	3,588 ²	349 ³	-	-	349 ⁴
総還元性向	241.8 %	44.9 %	36.4 %	41.4%	51.4%
【参考】基礎利益 (単体) ⁵	4,219	4,297	1,923	2,240	2,421

注1 事業費とその他経常費用の合計

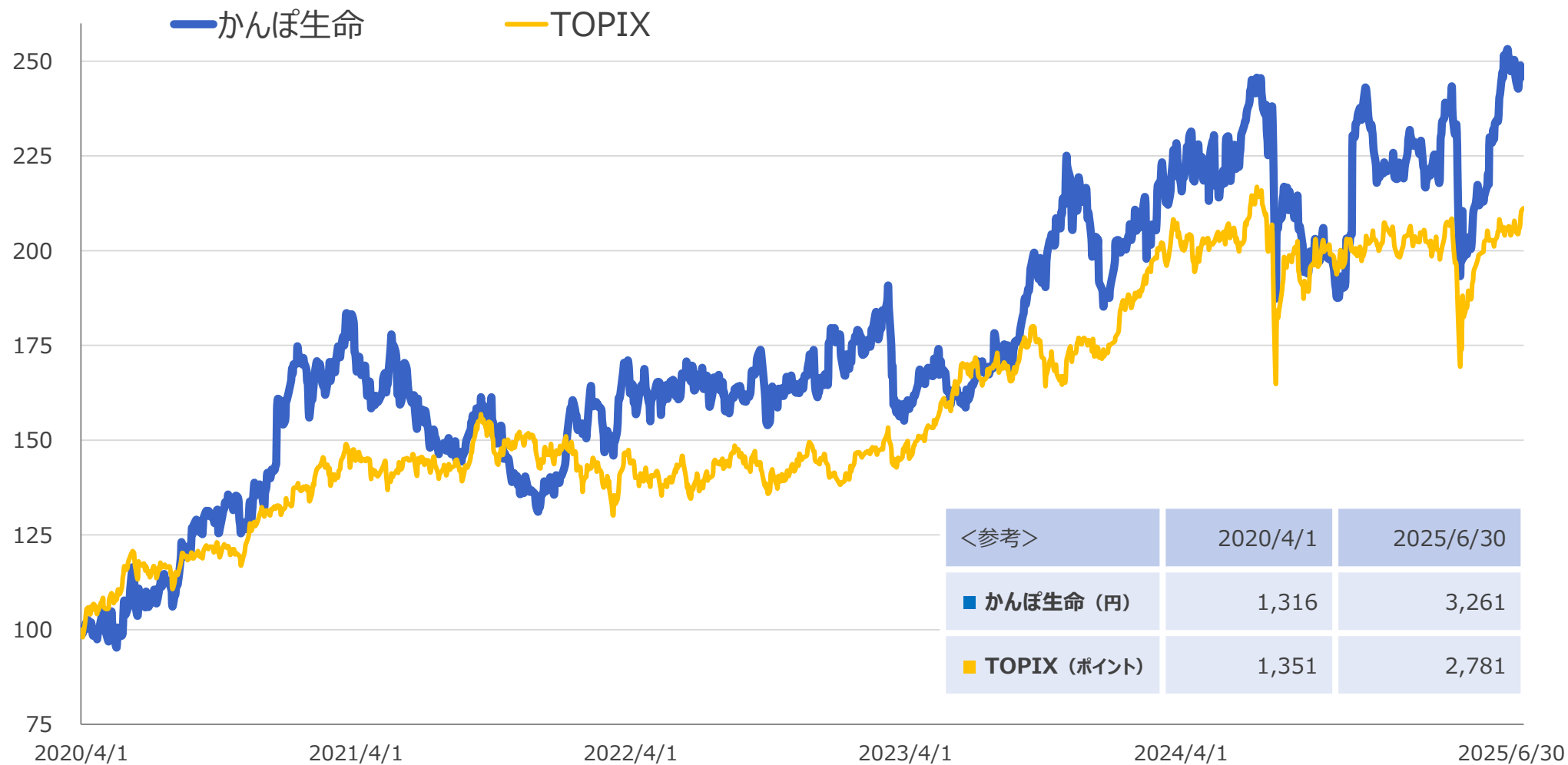
注2 2021年5月に実施

注3 2022年8月から2023年3月に実施

注4 2025年3月から4月に実施

注5 2022年度より基礎利益の計算方法について一部改正がなされており、基礎利益 (単体) は、2020年度と2021年度以降において異なる計算方法により算出

当社株価推移¹



¹ 株価：2020年4月1日の終値を100とした指数。

<免責事項>

本資料は、当社およびその連結子会社の企業情報等の提供のために作成されたものであり、国内外を問わず、日本郵政グループ各社の発行する株式その他の有価証券への勧誘を構成するものではありません。

本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社が現時点で合理的であると判断する一定の前提に基づいており、将来の業績は、経営環境に関する前提条件の変化等に伴い、予想と異なる可能性があることにご留意ください。